

一般社団法人 日本糖尿病学会
2023 年度 事業報告
(2023 年 4 月 1 日 - 2024 年 3 月 31 日)

I. 糖尿病に関する調査及び研究(定款 第 5 条 第 1 号)

- 1) 糖尿病関連検査の標準化に関する調査検討
- 2) アンケート調査による日本人糖尿病の死因に関する研究
- 3) 糖尿病治療に関連した重症低血糖の調査
- 4) 膵・膵島移植に関する調査研究
- 5) インクレチン薬治療のヒト膵腫瘍発生リスクに関する臨床病理学的研究
- 6) 食事療法に関する研究
- 7) 診療録直結型全国糖尿病データベース事業(J-DREAMS)
- 8) 1 型糖尿病における新病態の探索的検討
- 9) 単一遺伝子異常による糖尿病の実態解明と診療指針の作成
- 10) 我が国における 1 型糖尿病の実態の解析に基づく適正治療の開発に関する研究
- 11) 2 型糖尿病に対する厳格な多因子介入が血管合併症と生命予後に及ぼす長期的な影響の検討
(J-DOIT3)
- 12) レジストリ作成を通じた糖尿病をきたす希少疾患の治療標準化研究
- 13) 急性期病院における糖尿病専門医の役割の解析:DPC データの解析
- 14) 日本人 1 型糖尿病の包括的データベースの構築と臨床研究への展開

II. 糖尿病に関する学術講演会、討論会及び研究会の開催(定款 第 5 条 第 2 号)

1. 第 66 回年次学術集会

会長 西尾 善彦(鹿児島大学)

会期 2023 年 5 月 11 日(木)-13 日(土)

オンデマンド配信:2023 年 6 月 1 日(木)-30 日(金)

会場 城山ホテル鹿児島、かごしま県民交流センター、宝山ホール+WEB 開催

参加者 11,848 名

○学会賞受賞講演

ハーゲドーン賞 池上 博司 1 型糖尿病に関する分子遺伝学的研究

リリー賞 阪口 雅司 糖尿病の併存症の病態解明と合併症の治療法確立に向けた研究

笹子 敬洋 2 型糖尿病とその合併症の病態の分子生物学的解析と新規治療標的の同定

女性研究者賞 堀越 桃子 全ゲノム関連解析による出生時体重と 2 型糖尿病・生活習慣病の遺伝的関連の探索

○理事長声明

○会長講演 血管合併症の克服をめざして～インスリン治療の光と影～

- 特別講演 Therapies for Diabetes complications : targeting systemic and tissue specific protective factors
- 特別講演 Understanding diabetic kidney disease from genetics to cells and mechanism
- 特別講演 明治維新について
- 会長こだわり臨床企画 Clinical discussion
肥満治療内科治療 VS 外科治療
低侵襲手術時の血糖管理インスリン VS 経口血糖降下薬
- 会長こだわり臨床企画 Clinical navigation
糖尿病診療の Q こんなときどうする？エキスパートが徹底解説！
- シンポジウム 糖尿病とスティグマ・アドボカシー(学会協会合同シンポジウム)他 35 題
- 教育講演 血糖コントロールに効果的な細切れ運動.....他 27 題
- AASD/JDI モーニングセミナー
- Japan-Korea Diabetes Forum
- 第 11 回 EAST-WEST Forum
- EFSD との交換留学制度の報告会
- 新専門医制度に関するセッション
- 糖尿病の死因に関する委員会報告(2011-2020)
- 日本糖尿病対策推進会議地区担当者連絡会議
- 糖尿病劇場
- 第 9 回肝臓と糖尿病・代謝研究会シンポジウム
- 第 6 回若手研究助成金成果報告会13 題
- 若手研究奨励賞(YIA:Young Investigator Award)審査口演15 題
- 医療スタッフ優秀演題賞 審査口演.....12 題
- 一般演題 :1,349 題

2. 第 58 回「糖尿病学の進歩」

世話人 池上 博司(近畿大学)

会期 2024 年 2 月 16 日(金)-17 日(土)

オンデマンド配信:2024 年 3 月 1 日(金)-31 日(日)

会場 国立京都国際会館+WEB 開催

参加者 4,866 名

3. 地方会活動

1) 第 57 回糖尿病学会北海道地方会

会期: 2023 年 10 月 22 日(日)

会場： 札幌プリンスホテル
会長： 古橋 真人(札幌医科大学)
参加者： 495 名

2) 第 61 回日本糖尿病学会東北地方会

会期： 2023 年 11 月 11 日(土)
会場： 仙台国際センター
会長： 片桐 秀樹(東北大学)
参加者： 683 名

3) 第 61 回日本糖尿病学会関東甲信越地方会

会期： 2024 年 1 月 20 日(土)
会場： パシフィコ横浜会議センター
会長： 島田 朗(埼玉医科大学)
参加者： 2,554 名

4) 第 97 回日本糖尿病学会中部地方会

会期： 2023 年 9 月 23 日(土)-24 日(日)
会場： 名古屋国際会議場
会長： 神谷 英紀(愛知医科大学)
参加者： 963 名

5) 第 60 回日本糖尿病学会近畿地方会

会期： 2023 年 10 月 14 日(土)
会場： 神戸国際会議場、神戸ポートピアホテル
会長： 大原 毅(兵庫県立はりま姫路総合医療センター)
参加者： 1,616 名

6) 第 61 回日本糖尿病学会中国・四国地方会

会期： 2023 年 10 月 27 日(金)～28 日(土)
会場： くにびきメッセ
会長： 金崎 啓造(島根大学)
参加者： 870 名

7) 第 61 回日本糖尿病学会九州地方会

会期： 2023 年 12 月 1 日(金)～2 日(土)
会場： 熊本城ホール

会長： 山縣 和也(熊本大学)

参加者： 1,576 名

4. 年次学術集会・糖尿病学の進歩・地方会の管理・運営

本学会が主催する年次学術集会の運営を一元的に管理し、財政負担を削減するために年次学術集会の運営に関して日本コンベンションサービスと長期契約を行い効率的な運用に努めている。また、糖尿病学の進歩および各地方会においても準備状況を適宜報告して頂き学会事務局でまとめている。

5. 支部長会活動

2024 年 2 月 15 日に京都開催にて第 12 回支部長会が実施された。

6. 分科会活動

1) 第 38 回日本糖尿病合併症学会

会期： 2023 年 10 月 20 日(金)～21 日(土)

会場： 岡山コンベンションセンター

会長： 四方 賢一(岡山大学)

参加者： 1,299 名

2) 第 37 回日本糖尿病・肥満動物学会年次学術集会

会期： 2024 年 3 月 15 日(金)～16 日(土)

会場： 弘前大学創立 50 周年記念会館

会長： 水上 浩哉(弘前大学)

参加者： 133 名

Ⅲ. 会誌、研究報告、研究資料及び図書の刊行(定款第 5 条 第 3 号・第 6 号)

1. 会誌

「糖尿病」： 13 回発行

第 66 巻 4 号～第 67 巻 3 号(含、第 66 巻付録:第 66 回年次学術集会抄録号)

「Diabetology International」： 4 回発行

Vol.14・No.2, 3, 4 / Vol.15・No.1

2. 糖尿病患者向け指導書

- 1) 糖尿病治療の手びき 2023(改訂第 58 版増補)…………… 16,000 部発行
- 2) 糖尿病食事療法のための食品交換表 第 7 版…………… 25,000 部発行
- 3) 糖尿病性腎症の食品交換表 第 3 版…………… 増刷なし
- 4) 糖尿病食事療法のための食品交換表 活用編 第 2 版…………… 増刷なし
- 5) カーボカウントの手びき……………600 部発行

3. 医師および医療スタッフ向け指導書

- 1) 糖尿病診療ガイドライン 2019……………増刷なし
- 2) 糖尿病治療ガイド 2022-2023……………増刷なし
- 3) 糖尿病専門医研修ガイドブック 改訂第 9 版 ……………4,000 部発行
- 4) 内分泌代謝・糖尿病内科領域専門医研修ガイドブック……………3,000 部発行
- 5) 医療者のためのカーボカウント指導テキスト……………700 部発行
- 6) 糖尿病医療者のための災害時糖尿病診療マニュアル……………増刷なし
- 7) 高齢者糖尿病診療ガイドライン 2023……………7,000 部発行
- 8) 高齢者糖尿病治療ガイド 2021……………増刷なし
- 9) 小児・思春期糖尿病コンセンサス・ガイドライン……………増刷なし
- 10) 小児・思春期 1 型糖尿病の診療ガイド……………1,000 部発行
- 11) 糖代謝異常者における循環器病の診断・予防・治療に関するコンセンサスステートメント……………増刷なし
- 12) 日本人の肥満 2 型糖尿病患者に対する減量・代謝改善手術に関するコンセンサスステートメント……………増刷なし
- 13) 統合失調症に合併する肥満・糖尿病の予防ガイド……………500 部発行
- 14) 糖尿病療養指導の手びき 改訂第 5 版……………増刷なし
- 15) 糖尿病学用語集 第 3 版……………増刷なし

IV. 糖尿病専門医制度に関する事業(定款 第 5 条 第 4 号)

1) 学会専門医、研修指導医、認定教育施設の認定

専門医(内科:旧制度 118 名 新制度対象者 113 名)231 名、専門医(小児科)8 名、研修指導医 99 名、認定教育施設(Ⅰ・Ⅱ)16 施設、教育関連施設 1 施設、連携教育施設(小児科)2 施設の認定承認を行った。

2) 学会専門医、研修指導医、認定教育施設等の更新認定

専門医更新 1,158 名、研修指導医更新 640 名、認定教育施設更新(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)176 施設、教育関連施設更新 10 施設、連携教育施設(小児科)更新 1 施設の更新認定の承認を行った。

3) 新専門医制度:内分泌代謝・糖尿病内科領域について

専門医試験合格者 194 名、領域(暫定)指導医 293 名の承認を行った。

V. 内外の関係団体等との連絡および提携(定款 第 5 条 第 5 号)

1) IDF, IDF-WPR

IDF の理事会・総会で次回 IDF Congress は 2025 年 4 月 7 日～10 日(タイ、バンコク)に開催されることが決定され、それに伴い IDF-WPR の Chair である門協理事の任期が 2025 年 4 月まで延長された。

IDF-WPR Congress 2023 /The 15th AASD Scientific Meeting(2023 年 7 月 21～23 日)が、門協理事・清野裕名誉会員を会長として第 11 回日本糖尿病協会年次学術集会と同時

開催にて京都国際会館で開催された。

2) EASD

第 11 回 East-West Forum が 2023 年 5 月に第 66 回糖尿病学会年次学術集会(鹿児島)にて開催された。

3) EFSD

延期されていた日欧交換留学プログラムは 2023 年度の募集より再開した。

4) KDA

Japan-Korea Diabetes Forum が 2023 年 5 月に第 66 回糖尿病学会年次学術集会(鹿児島)にて開催された。

5) AASD

IDF-WPR Congress 2023 /The 15th AASD Scientific Meeting(2023 年 7 月 21～23 日)が、門脇理事・清野裕名誉会員を会長として第 11 回日本糖尿病協会年次学術集会と同時開催にて京都国際会館で開催された。

6) 第 59 回全国糖尿病週間の共催

期間: 2023 年 11 月 12 日～18 日

テーマ:「アドボカシー ～偏見に NO!～」

7) 日本糖尿病協会への協力(「さかえ」発行の企画等)

8) 世界糖尿病デーへの参加(「世界糖尿病デー」関連イベントの開催)

9) 糖尿病腎症合同委員会

10) 膵臓移植中央調整委員会

11) 糖尿病医療の情報化に関する合同委員会

12) 糖尿病と癌に関する合同委員会

13) 日本肝臓学会・日本糖尿病学会合同委員会

14) 日本糖尿病・妊娠学会との合同委員会

15) 高齢者糖尿病の診療向上のための日本糖尿病学会と日本老年医学会の合同委員会

16) 日本循環器学会・日本糖尿病学会合同委員会

17) 診療録直結型全国糖尿病データベース事業(J-DREAMS)合同委員会

18) 日本糖尿病理学療法学会と日本糖尿病学会との実務担当者会議

19) 日本肥満症治療学会・日本肥満学会・日本糖尿病学会 3 学会合同委員会

VI. 国民に対する糖尿病診療に関する情報の提供および啓発(定款 第 5 条 第 6 号)

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1) 第 66 回春季日本歯周病学会学術大会 | 2023 年 5 月 26 日～27 日 |
| 2) 第 58 回日本理学療法学術研修大会 | 2023 年 5 月 27 日～28 日 |
| 3) 第 28 回日本小児・思春期糖尿病学会年次学術集会 | 2023 年 7 月 17 日 |
| 4) 第 10 回日本糖尿病協会年次学術集会 | 2023 年 7 月 22 日～23 日 |
| 5) 栄養の日・栄養週間 2023 | 2023 年 8 月 1 日～7 日 |
| 6) 第 40 回糖尿病 Up・Date 賢島セミナー | 2023 年 8 月 26 日～27 日 |

- | | |
|---|-----------------------|
| 7) 医療計画ロジックモデル評価指標データ活用セミナー<糖尿病分野> | 2023 年 9 月 23 日 |
| 8) 第 66 回秋季日本歯周病学会学術大会 | 2023 年 10 月 13 日~14 日 |
| 9) 世界糖尿病デー・健康啓発セミナー2023 | 2023 年 11 月 1 日 |
| 10) 第 22 回日本先進糖尿病治療・1 型糖尿病研究会 | 2023 年 11 月 4 日~5 日 |
| 11) 令和 5 年度 食育健康サミット | 2023 年 11 月 9 日 |
| 12) 2023 年度糖尿病予防キャンペーン西日本地区 in 香川 | 2023 年 11 月 11 日 |
| 13) 2023 年度糖尿病予防キャンペーン東日本地区 市民公開講座 | 2023 年 11 月 23 日 |
| 14) 第 8 回日本糖尿病 生活習慣病ヒューマンデータ学会年次学術集会 | 2023 年 12 月 1 日~2 日 |
| 15) 第 34 回分子糖尿病学シンポジウム | 2023 年 12 月 2 日 |
| 16) 第 34 回日本糖尿病性腎症研究会 | 2023 年 12 月 2 日~3 日 |
| 17) 一般社団法人 PHR 普及推進協議会 PHR 普及推進フォーラム 2024 | 2024 年 2 月 4 日 |
| 18) 第 51 回日本膵・膵島移植学会学術集会 | 2024 年 2 月 23 日~24 日 |

VII. その他本会の目的を達成するために必要な事業(定款 第 5 条 第 7 号)

1. 功労賞および研究奨励・研究業績の顕彰

以下の各会員に授与した。

1) 坂口賞: 内潟 安子、佐藤 譲

2) 学会賞

ハーゲドーン賞: 池上 博司(1 型糖尿病に関する分子遺伝学的研究)

リリー賞: 阪口 雅司(2 型糖尿病とその合併症の病態の分子生物学的解析と
新規治療標的の同定)
笹子 敬洋(糖尿病の併存症の病態解明と合併症の治療法確立に向けた研究)

女性研究者賞: 堀越 桃子(全ゲノム関連解析による出生時体重と
2 型糖尿病・生活習慣病の遺伝的関連の探索)

3) 第 13 回若手研究奨励賞(YIA)

紙谷 史夏 (レセプトビッグデータ解析により明らかになった
免疫チェックポイント阻害薬による 1 型糖尿病の特徴と予後)

川田 哲史 (免疫チェックポイント阻害薬関連 1 型糖尿病の発症には膵島での
PD-L1 発現低下、炎症細胞浸潤、疾患感受性 HLA が関連する)

堀井 知美 (2 型糖尿病患者における成熟インスリン顆粒の減少は
膵β細胞内の脂肪滴蓄積やオートリソソームの増加と関連する)

三根 敬一郎（自己免疫性 1 型糖尿病モデル NOD マウスにおける Tyrosine kinase 2 の役割）
安田 拓真（腸管における脂肪酸受容体 GPR120 の欠損は高脂肪食摂取下の
インスリン抵抗性と脂肪肝を軽減する）

4) 第 9 回若手研究助成金

■ 基礎部門

北本 匠（肝細胞 FoxO1/PPAR α による胆汁酸組成変化を介した
糖代謝選択的インスリン抵抗性の病態解明）
高橋 宙大（ヒストン脱メチル化不全によるレプチン抵抗性発症機構の解明）
西谷 重紀（脂肪細胞由来ケトン体が生体内において脂肪組織機能および
全身の糖代謝・臓器保護に及ぼす影響の解析）
畑野 悠（ヒト iPS 細胞由来 NKX6.1 陽性膵内胚葉細胞の拡大培養法確立とメカニズム解明）
藤本 真徳（門脈周囲の糖新生の盛んな肝細胞の機能調節機構を、
空間的遺伝子発現・細胞間相互作用解析で解明する）
三浦 雅臣（腸管の老化細胞除去による耐糖能改善作用の検討）
村上 隆亮（加齢による小胞体ストレス応答変化に着目した成熟膵 β 細胞増殖制御機構の解明）

■ 臨床部門

加藤 久詞（単球・ミクログリア由来 TREM2 に標的とした
糖尿病性認知症の早期予知指標と効果的予防戦略の構築）
福田 士郎（血中可溶性 T-カドヘリンの健常者基準値ならびに
各種代謝異常症・糖尿病との関連に関する臨床研究）
山本 怜奈（ヒト肝脂肪化におよぼす糖尿病関連ゲノムと環境因子間の相互作用）

5) 第 7 回医療スタッフ優秀演題賞

久場 美鈴（スリーブ状胃切除術後 6 ヶ月の身体活動や骨格筋の質は
インスリン抵抗性と関連する）
坂根 靖子（重症低血糖を繰り返す成人 1 型糖尿病を持つ人の心理と
低血糖問題解決能力の意義）
高田 綾子（Hybrid Closed Loop(HCL)療法を導入した
1 型糖尿病患者における QOL の変化についての検討）
土筆 智晶（FreeStyle リブレから解析した血糖管理指標と
HbA1c との乖離についての検討）

町川 香代子（インスリン注射部位にインスリンボール・リポハイパートロフィーを
認める糖尿病がある人への注射指導と血糖改善効果の検討）

6) 第3回 DI Best Impact Award

岸本 美也子（Behavioral changes in patients with diabetes during the COVID-19
pandemic.）

7) 第3回キャリアデベロップメント報奨金

宮塚 健 （糖尿病根治に向けた α -cell heterogeneityの統合的解析）

脇 裕典 （NFIAを基軸とした肥満2型糖尿病とサルコペニア治療戦略の新展開）

8) 第1回 Advanced Postdoctoral Fellowships（日本糖尿病学会 特別研究員）

BILAL MUHAMMAD （Unraveling the Role of CD206 Surface Antigen on M2
Macrophages in the Onset of Insulin Resistance in
Obesity）

中村 慎太郎 （糖尿病による骨格筋機能障害に対する内因性 AMPK 活性化物質
AICARP の役割の解明）